

# 令和3年度第1回 自動車運送事業に係る交通事故対策検討会 概要

日時：令和3年12月14日（火）13：00～15：00

会議形式：ウェブ会議

出席委員：石川委員、榎元委員、小野委員、大槻委員、笠原委員、厚井委員、児島委員、酒井委員、鷺川委員、高柳委員、寺田委員、西田委員、橋本委員、濱田委員、林委員、山内委員

議事次第に沿って、事務局から資料の説明を実施。各資料説明後、質疑・意見交換が行われた。委員から出された主な意見は以下の通り。

## （資料1-1、資料1-2関係）

- 令和2年は、新型コロナウイルス感染症による貸切バスやタクシーの需要低下が、事故件数の大幅な減少に影響しているのではないかと。資料1-1に、留意すべき点として記載する必要があるのではないかと。
- 次回以降、資料1-2で乗務員に起因する事故に関する項目は、運転操作に起因する事故と健康状態に起因する事故を分けてほしい。
- タクシーの空車時の交通事故件数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられる。
- 次年度に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響を他の切り口で見たらどうか。

## （資料2関係）

- 「自動車運送事業に係る飲酒運転対策ワーキンググループ」委員を構成する学識有識者の専門分野として、産業保健を加えたらどうか。
- 飲酒運転を防止する車両ハード対策も検討されてはどうか。また、「自動車運送事業に係る飲酒運転対策ワーキンググループ」委員として、日本自動車工業会を加えていただきたい。
- 自動車事故対策機構で実施している運行管理者指導講習のテキスト内容を充実させるため、飲酒運転対策に係る事業者の優良取組事例の情報を提供してほしい。また、講習の際にP.10に記載があるリーフレットを配布することも可能なので、必要であれば相談いただきたい。
- 「自動車運送事業に係る飲酒運転対策ワーキンググループ」について、様々な観点から議論することは重要と考えており、ぜひ進めてもらいたい。
- 視野障害対策については、警察庁でも取組を進めていると思うので、必要な内容は連携して進めてもらいたい。
- 高齢運転者対策について、視野障害対策のほかに聴力に注目した対策も有効ではないかと。

## （その他関係）

- 令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関の受診をためらう人が多かったように感じる。健康状態に起因する事故を防ぐために、受診を促すことが有効ではないかと。
- 「事業用自動車総合安全プラン2025」は素晴らしい内容にとりまとまったと思う。規模が小さい事業者に対しても声が届くよう期待している。

以上